



ぜひ、おうちのかたといっしょ
によんでください!

1年生のみなさん、ご入学おめでとう
ございます。2~6年生のみなさん、
進級おめでとうございます。
学校図書館だよりを発行している、
学校司書の齊藤博恵です。学校司書
は、先生方と力を合わせて、各クラスの
図書を使った学習のお手伝いをします。
みんなが本をたくさん読んで、読書が大
好きになってくれるように、がんばります。
よろしくお願ひします。

「ひらいてとじた 笑顔がふえた」
こどもの読書週間4/23~5/12



子どもたちにもっと本を!との願ひから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)
にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日~
14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)~5月12
日になりました。小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるた
めにとっても大事なことです。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間で
もあるのです。(読書推進運動協議会ホームページより)

★千葉県教育委員会子どもの読書活動啓発リーフレット「図書館司書が選んだ『子どもに
読んでほしい本100選』」...小学生におすすめの本のリストが載っているホームページで
す。(おうちの人と、時間があるときにいっしょに見ましょう)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/dokusho/leaflet.html>

としよしつ し 図書室からのお知らせ

- 4月、新しいクラスでの最初の「図書の時間」には、「オリエンテーション」といって、図書室の利用案内をしています。オリエンテーションをしたクラスから、図書の貸出が始まります。児童がそれぞれの「読書のめあて」(1週間に何冊の本を読みたいか)を決めて、「読んだ本をすべて記録していくこと」を励んでいきたいと願っています。図書室で借りた本だけでなく、家にあった本や公共図書館で借りた本なども、読んだらすべて記録しましょう。
- 学校司書は、児童に「必ず1冊は9類(文学、物語の本)を借りましょう」と呼びかけています。「なんで9類の本を読まなくちゃいけないの?」ときかれることがよくありますが、たくさんの読み物を楽しんで読んでいくうちに、ストーリーを追うことで読解力がついたり、登場人物の心情を読み取ることができるようになっていたり、知らず知らずのうちに語彙(ボキャブラリー。自分が使える言葉)が増えたりして、国語の問題を解く力がついていくと考えるからです。難しい本でなくて構いません。図書室で本を手にとったら、中を見て、今の自分が楽しんで読めそうな本を借りてみてください。おうちのかたともぜひ、図書室で借りた本のことを話題にしてください。
- オリエンテーションの時に、「おすすめの本のリスト」と、「各学年の国語の教科書で紹介されている本(○年生で読みたい本)のリスト」を配ります(「読書の記録」にホチキス留め)。本を選ぶ時の参考にしてください。行徳図書館などの公共図書館を利用する

のも、いいですね。



うちどく ●

「うちどく」のすすめ 連休など、おうちの方と家で過ごす時間に、「うちどく」をおすすめします。

「うちどく」に特別なルールはありません。家族で好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが基本です。同じ本をみんなで読めば、会話もいっそう弾みます。また、本をすすめあったり、読む本について相談しあったりすることでもコミュニケーションが生まれます。(トーハン HP より)

- ★ 「うちどく」について、詳しくは <https://www.tohan.jp/csr/uchidoku/> を見てください。「うちどくノート」、「うちどくブックガイド」がダウンロードできます。